



よしだつうしん

吉田通信

第114号
【2024年3月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

◆採用が難しいのであれば・・・◆

こんにちは。お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第114号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、2025年に卒業する学生の就職活動が、3月1日に解禁。さっそく私たちも新潟開催の合同企業説明会にブースを出してきましたのですが、昨年に続き気になることがありました。

特に気になったのが学生の数の少なさです。1年前は学生の少なさと、ブースを出展する企業の少なさの両方が気になりました。ただ、コロナ禍が明けて、経済も動きだし、採用に積極的になる企業が増えているからか、その企業ブースの数は昨年より増えていました。

ただ、学生の数が昨年よりも減っており、コロナ禍前と比べたら明らかな減少ぶりで、本当にこのままでは新潟の中小企業は人が採用できなくなるのではと心配になりました。

どうしてここまで激減しているのか、どうやら学生の数が減っているだけでなく、東京にだいが流れてしまっているようなのです。今、完全な売り手市場（学生優位）の中で、景気の良い東京は何とか採用をしようと競うように新入社員の初任給を引き上げているようなのです。

新卒の給料を上げるということは、既存の社員の給料も上げる必要があるわけで、それだけの原資があるのかという話です。また、もし、我々含め、新潟の中小企業が全体で給料を上げることができたとして、東京の企業より魅力を感じてもらえるのかというのは、考えてしまいます。

今、世の中ではAIの活用がどんどん広がり、人手不足を補ってきているようです。聞くところでは、とある地域では高校の期末テストの採点を、先生ではなくAIが行っているようです。他にも、とある携帯ショップでは規約の説明を人間のスタッフではなく、タブレットの動画が行い、また、家のネット回線の工事日についての電話連絡もAI音声で行っているようです。

人が採用できないなら、AIの活用も考えていかなければなりません。私たちの仕事をどこまでAIができるのかわかりませんが、この分野はどんどん進化していくと思いますし、常にチェックはしておきたいと思っています。



◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただきまして、どうもありがとうございます。さて、3月に息子が大学を無事卒業し、4月から就職です。それに伴い、引っ越しの作業に私も手伝いに行くことになっています。手伝いと言ってもただその場で立ち会うだけです。引っ越し屋さんの作業は完全な人海戦術です。今後、働き手不足になっても引っ越し屋さんはAIに置き換わることはなく、こういった業界も人手の確保が大変だろうなあと、そんなことも考えてしまいました。吉田竹史

■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが025-372-1138までご連絡をお願いいたします。■

【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）
生年月日：昭和40年8月21日（O型）
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史